

16年間を振り返る 奥名克美町長退任のあいさつ



このたび、8月31日の任期満了をもちまして、4期16年間にわたる町長職を退任することとなりました。平成19年9月から第8代目の甲佐町長に就任し、今日まで町民の皆さまには公私ともに格別のご支援、ご厚情を賜り、無事に職責を果たすことができましたことに、心から厚くお礼申し上げます。

16年前の初当選から今日にいたるまで一貫して、「甲佐町の再生と町政の安定」を政治信条として町政運営に携わってまいりました。おかげさまで、そうした町の姿勢が国や県との強い信頼関係につながり、その結果として従前からの多くの町の課題や懸案事項を解決に導くことができた例も少なくないと考えます。

振り返りますと、私は、生まれ育ったふるさと甲佐町を何とかしたいとの強い思いから町長選挙に立候補することを決意し、町民の皆さまの絶大なご支援をいただき、町長に就任することができました。

町長就任後は、第3子以降の出産祝い金の増額や中学校3年生までの医療費無償化などによる子育て支援の強化に努める一方、地域活性化の一翼を担う「特産品開発事業」などに取り組んでまいりました。

平成23年に東北を襲った東日本大震災では、本町も宮城県東松島市へ職員を派遣するなど、東日本大震災に学び、国土交通省、町の建設業協会などとの大規模災害時の支援協定を締結し、「災害に強いまちづくり」を進

めてまいりました。

本町でも平成28年4月に熊本地震、6月に梅雨前線豪雨災害と立て続けに未曾有の大災害が発生しました。町としても町民の皆さまが一刻も早く、安全・安心に暮らす環境を整えて復旧・復興に力を注ぐことができるよう、り災証明書発行に向けた家屋被害調査をいち早く実施し、続く応急仮設住宅建設および家屋解体などは県下で最初に着手いたしました。

これまでには、住まい復興拠点施設の整備をはじめ、田口橋の改修、更には熊本地震からの復興シンボルとして整備を進め、今年3月に完成した「熊本甲佐総合運動公園」(通称：Kパークこうさ)など、これまで歩んできた復旧・復興の道のりを思うと感慨深いところです。

退任を迎える今、町長としてやり遂げられなかった事業もあります。まちづくりにゴールはありませんので引き続き、町民の皆さまには町政に対する一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この「ふるさと甲佐」で本当に多くの人と語り、県内および近隣の自治体首長と交流を深めることができましたことが、私の大きな宝となりました。16年間の長きにわたり、町政の舵取り役という重責を務めさせていただき、誇りに思い、町民のご厚情に改めてお礼申し上げます、退任のあいさついたします。



▲整備された災害公営住宅（甲佐地区）



▲「陣ノ内城跡」国指定答申に関する記者発表



▲甲佐ブランド「こうさんもん」のロゴマーク



▲冬営業を開始した甲佐町やな場

奥名町政16年間の主な出来事

○町長就任

2007年（平成19年）

○第3子以降の出産祝い金の増額

2009年（平成21年）

○甲佐町総合型地域スポーツクラブ発足

○統合甲佐小学校の校舎・給食センター完成

○中学校3年生までの医療費無償化

○特産品開発事業に着手

2010年（平成22年）

○「緑川上流通槽碑」、「下豊内の逆修碑」、「薬王寺の宝篋印塔」、「津志田の逆修碑」が町指定文化財となる

○町内全域を対象とした光ブロードバンドのサービス開始

2011年（平成23年）

○第6次甲佐町総合計画策定

○東日本大震災復興支援のため町職員を派遣

○国交省と「大規模な災害時の応援に関する協定」を締結

○暴力団排除に関する合同調印式

2012年（平成24年）

○国、県、町が配信する災害情報を携帯電話で受信できる「エリアメール」を配信開始

○甲佐ブランド「こうさんもん」認定制度開始

2013年（平成25年）

○甲佐中学校新校舎完成

○「新甲佐町史」発行

○「ろくじ館」リニューアルオープン

2014年（平成26年）

○乙女・大沢水地区農免農道が開通

2015年（平成27年）

○国交省で「甲佐地区かまちづくり」計画が登録

2016年（平成28年）

○熊本地震（4月）、梅雨前線豪雨災害（6月）発生

2017年（平成29年）

○甲佐町フィットネスセンターオープン

2018年（平成30年）

○甲佐町空き家バンク制度を開始

○熊本甲佐総合運動公園整備開始

○第四水源（田口）水道供給開始

2019年（令和元年）

○子育て支援住宅「ヴェルデ甲佐」、災害公営住宅、防災公園完成

○地震で被災した田口橋が開通

○乙女高齢者福祉センター完成

2020年（令和2年）

○井戸江峡交流拠点施設「COMMON IDOE」、古民家交流拠点施設（旧西村邸）がオープン

2021年（令和3年）

○陣ノ内城跡が国史跡に指定

○美里町と包括連携協定を締結

○第7次甲佐町総合計画策定

2022年（令和4年）

○美里町と「避難所相互利用に関して定めた覚書」を締結

○やな場冬営業開始

○「熊本甲佐総合運動公園」全面供用開始

○美里町の図書室との相互利用が開始

○町長退任

▼復興のシンボル「熊本甲佐総合運動公園」完成式典



▼美里町との包括連携協定締結式



▼田口橋の開通式



▼子育て支援住宅「ヴェルデ甲佐」

